

【学校教育目標】

自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成  
～全ては子どもたちの笑顔のために～



目指す学校像

- ・信頼される学校
- ・明るくさわやかな学校
- ・清潔かつ安全な学校

目指す児童像

- ・進んで学ぶ子（知）
- ・思いやりのある子（徳）
- ・元気な子（体）

目指す教師像

- ・前向きに歩む教師
- ・信頼される教師
- ・「和」を大切にする教師

【子どもたちの合言葉】 「元気なあいさつ」「ひびく歌声」「『はい』という返事」

【袖東小のキャッチフレーズ】 「未来へ輝け！笑顔あふれる東小」

【今年度の重点目標と手立て】

「確かな学力」の向上を図る

- 児童の言語活動の充実を目指す指導法の工夫
- 学力調査結果を分析し、課題の明確化を図る
- 組織的・継続的に健康・安全教育を推進
- 個々のニーズに対応した特別支援教育の充実
- 体験活動を通して自主性と表現力を養う

心身ともに健康な子どもを育てる

- 基本的な生活習慣の定着を図る
- 生徒指導の機能を生かした授業の充実
- 登校が難しい児童へ適切な対応を図る
- いじめ・虐待の早期発見・防止・解消
- 道徳科を要として、道徳性を養う

意欲的に取り組める組織づくり

- 職員が職責を自覚し、毎日意欲的に仕事に取り組める職場づくり
- 日常の職務や研修機会を生かして職員が個々に資質や能力を磨く
- 共通の目標に向かってチームとして協働し、切磋琢磨し合う関係をつくっていく
- 児童の安全、教育的意義や効果の維持・向上に努めながら、働き方改革を推進する

「多様性」  
を認め合い、  
「共生」  
の心を育む  
教育の推進

家庭・地域との連携を図る

- 状況に応じて、工夫して、保護者や地域との交流を図る
- 安全に留意して「和太鼓演奏」「袖ヶ浦音頭実演」などの伝統を大切にした教育活動を推進する
- 地域の活動を支援し、施設開放や情報交換を積極的に行う
- 幼稚園・保育園・中学校・県立習志野特別支援学校との交流・共同学習の実践を図る

自己研鑽等に励む教職員

- 授業実践を通じた指導力の向上
- 初若年層教員の指導力の育成（研修の活用・授業相互参観）
- 全職員の信頼と協力による温かな人間関係づくり（児童・保護者との信頼関係を裏切らない）

＜PDCA サイクルの確立＞

- 保護者・地域
  - ・年1回の学校評価
  - ・学校評議員会
- 職員
  - ・行事毎・学期毎の反省
  - ・学校評価による自己評価
- 児童
  - ・「今月のめあて」、「袖東小のきまり」の振り返り

＜地域に開かれた学校づくり＞

- ホームページ、学校だより、学年だより、学校メールなどによる情報発信
- 地域行事への積極的参加
- 学校支援ボランティアとの協働
- 地域会議等での情報発信

＜関係機関との連携＞

市教育委員会、市総合教育センター、ひまわり発達相談センター、市子育て支援課、習志野警察署 等